

弓達 秀樹 議員



一問一答方式

- ①降雪時の生活道路対策
- ②災害時における避難場所
- ③移住・定住支援制度
- ④肱川区の安全対策

降雪時の生活道路対策について

問 2月には平野部でも40センチを超える積雪に見舞われたが、高齢者の生活事情に詳しい方々や自治会関係者の方々に、介護サービスを

受ける必要性の高い高齢者の自宅付近に使用を限定した融雪剤などの事前配布をお願いすることができれば、高齢者の外出の手助けになるのではないかと考える。地域自治会などに、今後こういう協力依頼の相談

をするつもりはないか。

答 高齢者は転倒をきっかけに、寝たきりや要介護状態になるケースも多く、特に雪道を高齢者が

出歩くことは大変危険ですので、今回のような大雪の日には外出をできるだけ控えていただきたいと考えています。融雪剤には雪を溶かす効果が期待できますが、溶けた雪がシャーベット状となり滑りやすく、高齢者には危険な路面となるため、今のところ事前配布には課題が多いと考えています。各自治会での融雪剤の利用状況や効果等を踏まえ、高齢者にとってどのような対策が適切かを考えていきたいと思っています。

災害時における避難場所について

問 内子町では、地域防災計画で民間事業者との災害支援協力を図

る協定を結び、万が一の場合にできる限り住民が快適に避難生活を送ることができるように大手飲料メーカーや、地元のゴルフ場とも避難場所としての支援協力に関する協定を締結している。本市においても、食料支援などお願いできる事業者や大洲

ゴルフ倶楽部には、災害支援協力に関する要請、または避難場所としての指定などを進める早急な必要性を感じているが、考えをお聞きしたい。

答 本市での災害支援協力に関する協定は、物資供給や避難所、消防

活動に関する協定など41件の協定を締結しており、災害時にそれらの協定に基づき支援等をいただける体制となっています。今年度も、愛媛行政書士会と災害時における被災者支援に関する協定を締結し、罹災証明書や相続、許認可に関する相談の業務支援をいただけることとなりました。

ご提案の大洲ゴルフ倶楽部については、想定最大規模降雨における浸水想定区域外にあり、敷地も広く、入浴設備を備えた施設もありますので、今後協定締結に向けて、具体的に協議検討を進めていきたいと考えています。

肱川区の安全対策について

問 国交省大洲河川国道事務所、アクトピア立体駐車場、稲澤ハイ

ツに面した三差路から肱川区に向かうJR中村踏切拡幅は、肱川区地域

住民やアクトピア関係者などによる長年にわたる要望にお答えいただき、踏切拡幅工事着手に向けJRとの協議を始めていただいたことに感謝申し上げます。中村踏切拡幅工事と並行し、五郎橋から踏切までの車両のスピード抑制対策や踏切手前の幅員が減少し離合しにくい箇所の道幅拡幅など、中村踏切拡幅から考えられる交通安全対策を総合的に推し進めていただきたいが、見解をお聞きます。

答 中村踏切の改修は、現況踏切幅3.5メートルを5メートルに

拡幅することで、現在JRと協議を進めています。この踏切拡幅に伴い、踏切前後の市道付近も5メートルに改良する必要があるため、幅員が狭く離合しにくい箇所もこの中村踏切改修とあわせて整備したいと考えています。また、車両のスピード抑制対策は、現在、外側線や路面の徐行表示が見えにくくなっていますので、順次引き直すとともに、踏切改修計画とあわせて地元と協議、調整を図りながら、交通安全対策を進めていきたいと考えています。